

家畜の暑熱対策を実施しましょう



【石狩管内の被害事例】（いずれも令和4年7月の発生）

＜採卵鶏飼養農場 1戸97羽死亡＞

要因：外気温が30℃を超え、鶏舎内温度が33℃以上、湿度90%以上となった。

＜豚飼養農場 1戸 1頭死亡＞

要因：2日にわたって外気温が30℃超、湿度の高い状況で放牧中であった。

★これからの季節、急に暑くなったり湿度が高くなる日がありますので、こまめに畜舎内の温度や湿度の変化を予察し、日射病や熱射病対策を徹底してください。

★換気システムの整備やホコリの除去、ウインドレス畜舎での空腸設備の点検は定期的に行いましょう。また、強風等の後は設備に不具合が無い点検しましょう！

★子牛や子豚、起立不能家畜等、暑さに弱い家畜の係留場所には特に注意し、直射日光の当たり具合や水が十分摂取できているか確認しましょう！

【家畜が快適に過ごせる環境を作り、事故や生産性低下を防ぎましょう】

畜舎環境

◎直射日光の遮断

緑のカーテンや遮光ネット、よしず、放牧地に日陰を作る など

◎畜舎屋根の断熱・冷却

白色塗装（ペンキ・石灰）、断熱材設置、散水



◎畜舎の通気・換気

送風機、細霧システムの活用

◎衛生害虫の駆除

ハエ等によるストレスを防ぐ

飼養管理

◎家畜の管理

- ・密飼いを避ける
- ・冷水の噴霧
- ・バリカンで毛刈りする（牛）



◎給与飼料

- ・涼しい時間帯の給与
- ・新鮮で冷たい水の給与
- ・ミネラルやビタミンの補給
- ・飼料の腐敗防止



●サルモネラ症などの伝染病も発生しやすい時期です。衛生管理を徹底し、異常の早期発見、早期治療に努めましょう。